

三月議会の「一般質問」 公民館を取り巻く課題について

公民館の五館構想

公民館貫井北町分館が開設して一年が経ちました。この時点で公民館が六館になったことで、20年前に示された五館構想はどうなったのか、と疑問に思っていたことを一般質問に取り上げました。公民館五館構想は緑センターができた時に示されたもので、いったんは本町分館を集会所にしたいとする行政の方針に対し、反対する市民に説明されたものでした。答弁によると、小金井市第二次基本構想(昭和63年3月策定)に示されていた構想で、中学校区に一館という考え方を示したものでした。ただ、その後の方針が地域の実態を考慮するという柔軟性を示したため、基本構想からは消えていました。しかし、今財政が厳しいことから行政改革を進めることが求められており、公民館を増やすことは慎重にすべきです。五館に整理することが妥当だとこの答弁を得ました。



福祉会館内の公民館本館は

福祉会館の建て替えに伴って、公民館本館についてはどのような検討がされているかを問うたところ、現在の事業の中で新福祉会館に移せる事業を洗い出しているところとの答弁でした。

東センターのNPO法人への委託は

東センターの委託による財政効果は、市民サービスの拡大を含め、年間ベースで1400万円です。今後他の公民館に拡大するかどうかを問うたところ、現時点では検討していないとのこと。なお、東センターの委託に関しては8月からの委託料が新年度予算に計上されましたが、関係者の理解を得るよう付帯決議がつけました。

公民館使用の有料化については、現在、公民館内部で検討チームを作って検討しています。行革市民会議からは、有料化を早急に進めるよう提言が出ています。公民館のあり方については、実態をよく見極めての改革が必要と思います。

新年度予算から



考えます。

これから福祉関係経費は増加することは避けられませんが、できる限りの行財政改革を進めて、社会の変化に対応するための体質づくりが急務と

歳入での特徴は昨年から始まった消費税3%アップ分が、地方消費税交付金として約10億円の増収となりました。また、行革の二環で見直しが行われている人件費は、年々減少しており、平成25年度決算では多摩26市中17位まで改善しましたが、それ以上に民生費の支出増が年間約10億円規模で増加しており、財政状況は厳しいと言わざるを得ません。新年度は特に、武蔵小金井駅南口第二地区の再開発事業に約4億円、特定緊急輸送道路沿道建築物耐震改修助成金約4億円、保育所運営費の増加が支出の特徴となっています。

ホームページ <http://igarashi-kyoko.com>

五十嵐京子議員 サイト

検索

小金井で元気に！ 小金井を元気に！

五十嵐京子

通信
第39号

2015年5月発行

五十嵐京子を支援する会

小金井市本町3-8-9-312

電話 042-384-9920